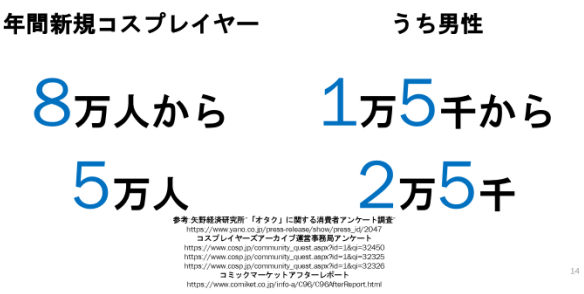
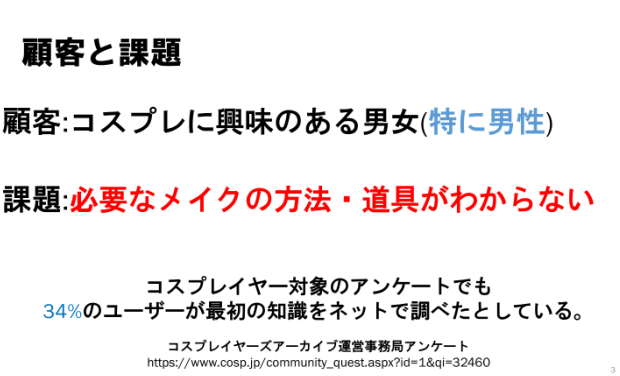
知識工学部知能情報工学科深谷拓実
ビジネスプランコンテスト発表抜粋と補足

このビジネスプランにおけるコスプレとは、アニメ・マンガ・ゲーム等の登場人物・キャラクター等に扮する行為のことを指す。

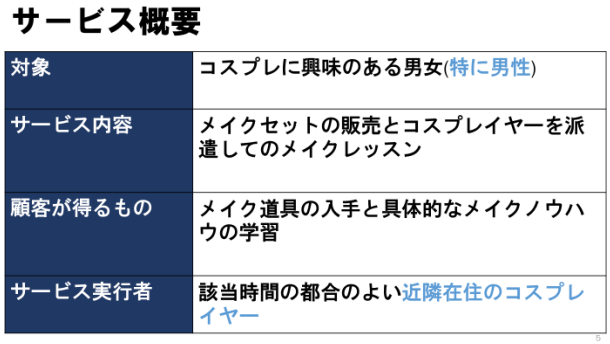
ここでのコスプレイヤーとは、コスプレを趣味で行っているアマチュアの人を想定する。



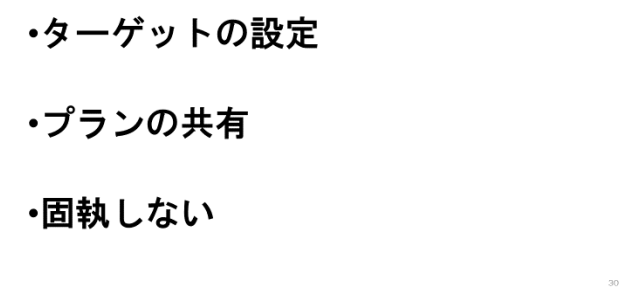

いくつかの調査から推定すると、年間の新規コスプレイヤーは８万人から５万人程度、うち男性は１万５千から２万５千人程度となる。実際のマーケットはこれにコスプレに興味を持ちつつも実行してこなかった層が加わる。




顧客として特にメイク経験に乏しい男性を強く想定
また、コスプレ時のメイクと日常のメイクは異なることから女性もターゲットに含める。




サービスにはメイク用の化粧品セットの販売が含まれる。また、派遣するコスプレイヤーは Uber のように個人事業主としてサービスの実施を委託する。




このアイデアを考える以前、男性向け低価格化粧品ブランドのビジネスを考えていたが、根本的にターゲットの設定に無理があった。そのアイデアを転換することでこのプランを考えた。

最初の状態に固執せず、柔軟に対応することの重要性を感じた。